

運用報告書 (全体版)

世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2012年12月17日から2027年11月25日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクローキー高配当世界株指数 (以下「高配当株戦略指数」といいます。) から得られる総合収益の獲得、および毎月の分配実施 (実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。) による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。	
主要投資対象	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	投資信託証券
	シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス	スワップ取引
	国内マネー・マザーファンド	本邦通貨建ての公社債
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数 (配当込み、円ベース、円ヘッジあり) に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジ) -Aクラス (以下「エクイティファンド (ヘッジあり) A」といいます。) 円建受益証券 国内証券投資信託 (親投資信託) 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド (ヘッジあり) Aにおける高配当株戦略指数 (配当込み、円ベース、円ヘッジあり) への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取引相手とする担保付スワップ取引により行います。	
組入制限	世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	投資信託証券および短期金融商品 (短期運用の有価証券を含みます。) 以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内マネー・マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前におけるエクイティファンド (ヘッジあり) Aの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド (ヘッジあり) Aの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第156期	<決算日	2025年12月25日>
第157期	<決算日	2026年1月26日>
第158期	<決算日	2026年2月25日>
第159期	<決算日	2026年3月25日>
第160期	<決算日	2026年4月27日>
第161期	<決算日	2026年5月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース」は、2026年5月25日に第161期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジありコース

■最近5作成期の運用実績

作 成 期	決 算 期	基 準 価 額			高 配 当 株 戦 略 指 数		投資信託 受益証券 組入比率	債券組入 比 率	純 資 産 総 額
		(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(配当込み、円ベース、 円ヘッジあり) 参 考 指 数	期 中 騰 落 率			
第23作成期	132期 (2023年12月25日)	円 3,917	円 53	% 1.9	27,057.95	% 2.2	% 97.6	% 0.2	百万円 8,251
	133期 (2024年 1 月25日)	3,840	47	△0.8	26,885.34	△0.6	97.5	0.2	8,125
	134期 (2024年 2 月26日)	3,882	47	2.3	27,755.05	3.2	97.1	0.2	8,207
	135期 (2024年 3 月25日)	4,005	47	4.4	28,920.50	4.2	97.8	0.2	8,328
	136期 (2024年 4 月25日)	3,950	47	△0.2	28,915.79	△0.0	98.0	0.2	8,171
	137期 (2024年 5 月27日)	3,909	47	0.2	29,019.49	0.4	97.9	0.2	8,149
第24作成期	138期 (2024年 6 月25日)	3,788	47	△1.9	28,500.77	△1.8	97.6	0.2	7,825
	139期 (2024年 7 月25日)	3,780	47	1.0	28,867.18	1.3	97.6	0.2	7,721
	140期 (2024年 8 月26日)	3,731	47	△0.1	28,927.78	0.2	96.6	0.2	7,736
	141期 (2024年 9 月25日)	3,700	47	0.4	29,123.68	0.7	97.9	0.2	7,657
	142期 (2024年10月25日)	3,625	47	△0.8	28,959.93	△0.6	96.6	0.2	7,577
	143期 (2024年11月25日)	3,535	47	△1.2	28,649.25	△1.1	97.8	0.2	7,289
第25作成期	144期 (2024年12月25日)	3,377	47	△3.1	27,778.12	△3.0	98.1	0.3	6,875
	145期 (2025年 1 月27日)	3,435	42	3.0	28,698.05	3.3	97.7	0.3	6,902
	146期 (2025年 2 月25日)	3,458	42	1.9	29,392.67	2.4	97.5	0.3	6,862
	147期 (2025年 3 月25日)	3,423	42	0.2	29,457.95	0.2	95.1	0.2	6,652
	148期 (2025年 4 月25日)	3,130	42	△7.3	27,307.09	△7.3	98.0	0.3	5,984
	149期 (2025年 5 月26日)	3,155	42	2.1	27,974.07	2.4	97.8	0.3	5,762
第26作成期	150期 (2025年 6 月25日)	3,067	42	△1.5	27,626.48	△1.2	97.9	0.3	5,633
	151期 (2025年 7 月25日)	3,167	42	4.6	29,012.65	5.0	97.9	0.3	5,728
	152期 (2025年 8 月25日)	3,159	42	1.1	29,417.62	1.4	97.6	0.3	5,721
	153期 (2025年 9 月25日)	3,043	42	△2.3	28,765.25	△2.2	98.2	0.3	5,501
	154期 (2025年10月27日)	3,106	42	3.5	29,866.68	3.8	98.5	0.3	5,587
	155期 (2025年11月25日)	3,049	42	△0.5	30,269.08	1.3	97.7	0.3	5,491
第27作成期	156期 (2025年12月25日)	3,119	42	3.7	31,003.52	2.4	97.9	0.3	5,564
	157期 (2026年 1 月26日)	3,181	37	3.2	32,092.10	3.5	97.9	0.3	5,603
	158期 (2026年 2 月25日)	3,349	37	6.4	34,309.02	6.9	97.8	0.3	5,676
	159期 (2026年 3 月25日)	3,068	37	△7.3	31,828.12	△7.2	98.4	0.3	5,015
	160期 (2026年 4 月27日)	3,068	37	1.2	32,556.87	2.3	98.5	0.4	4,802
	161期 (2026年 5 月25日)	3,062	37	1.0	32,962.26	1.2	98.3	0.4	4,607

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクロッキー高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	高 配 当 株 (配当込み、円ベース、 円ヘッジあり) (参 考 指 数)	戦 略 指 数	投 資 信 託 債 券 組 入 組 入 比 率	
			騰 落 率		騰 落 率		
第156期	(期 首) 2025 年 11 月 25 日	円 3,049	% －	30,269.08	% －	% 97.7	% 0.3
	11 月 末	3,125	2.5	30,793.47	1.7	98.0	0.3
	(期 末) 2025 年 12 月 25 日	3,161	3.7	31,003.52	2.4	97.9	0.3
第157期	(期 首) 2025 年 12 月 25 日	3,119	－	31,003.52	－	97.9	0.3
	12 月 末	3,123	0.1	31,043.31	0.1	98.1	0.3
	(期 末) 2026 年 1 月 26 日	3,218	3.2	32,092.10	3.5	97.9	0.3
第158期	(期 首) 2026 年 1 月 26 日	3,181	－	32,092.10	－	97.9	0.3
	1 月 末	3,165	△0.5	31,940.45	△0.5	98.0	0.3
	(期 末) 2026 年 2 月 25 日	3,386	6.4	34,309.02	6.9	97.8	0.3
第159期	(期 首) 2026 年 2 月 25 日	3,349	－	34,309.02	－	97.8	0.3
	2 月 末	3,331	△0.5	34,138.10	△0.5	98.2	0.3
	(期 末) 2026 年 3 月 25 日	3,105	△7.3	31,828.12	△7.2	98.4	0.3
第160期	(期 首) 2026 年 3 月 25 日	3,068	－	31,828.12	－	98.4	0.3
	3 月 末	3,115	1.5	32,464.71	2.0	98.2	0.3
	(期 末) 2026 年 4 月 27 日	3,105	1.2	32,556.87	2.3	98.5	0.4
第161期	(期 首) 2026 年 4 月 27 日	3,068	－	32,556.87	－	98.5	0.4
	4 月 末	3,033	△1.1	32,275.63	△0.9	98.4	0.4
	(期 末) 2026 年 5 月 25 日	3,099	1.0	32,962.26	1.2	98.3	0.4

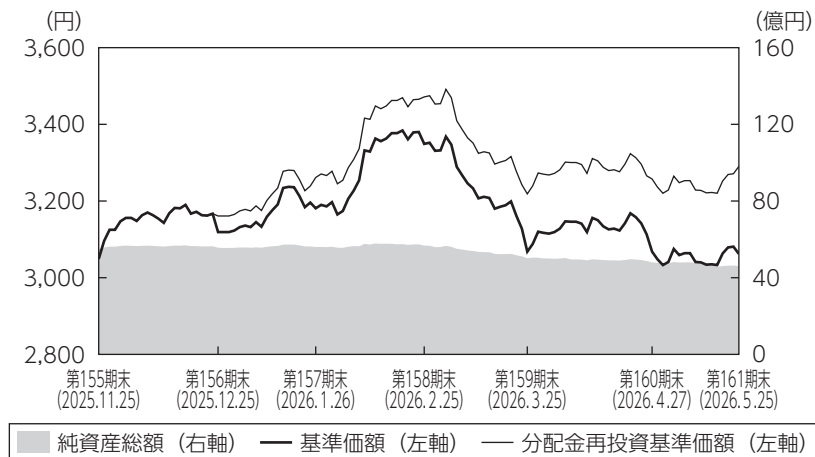
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第156期～第161期の運用経過（2025年11月26日から2026年5月25日まで）

基準価額等の推移



第156期首： 3,049円
 第161期末： 3,062円
 （既払分配金227円）
 騰落率： 7.9%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期間の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（JPYヘッジド）－Aクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジあり）A」といいます）の価格上昇が基準価額のプラス要因となりました。

投資環境

世界主要国の株式市場は総じて上昇しました。米国はF R B（米連邦準備理事会）の利下げ観測で上昇して始まりましたが、A I（人工知能）普及で影響が懸念されたソフトウェア株の下落などで上値が重くなりました。2月末には米・イスラエルのイラン攻撃を受け、原油高を通じたインフレ懸念で下落しました。4月以降は停戦協議の進展期待から半導体などA I関連株が急騰し、作成期末にかけ上昇基調を辿りました。米国では金利高止まり観測も重荷となりましたが、業績改善期待が下支えしました。欧州は景気減速懸念が残っていたものの、欧州への資金シフトや防衛関連株の堅調さで持ち直しました。2月以降は、中東情勢の緊迫化で下落し、反発後も英国の政局不安などで伸び悩む展開となりました。日本は日銀の利上げ懸念で出遅れたものの、総選挙勝利で高市政権の信任が高まると上昇し、作成期末にかけてはA I関連株高で堅調な展開となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.3%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当作成期間を通じて「エクイティファンド（ヘッジあり）A」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

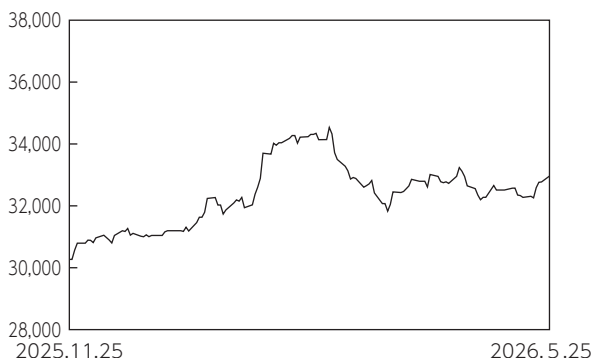
●エクイティファンド（ヘッジあり）A

主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジあり）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

●国内マネー・マザーファンド

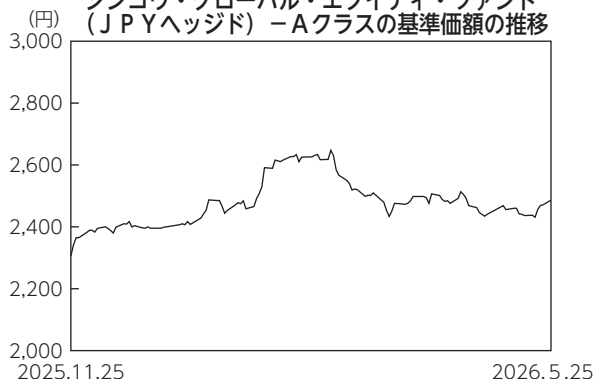
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジあり）の推移



(注) 高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

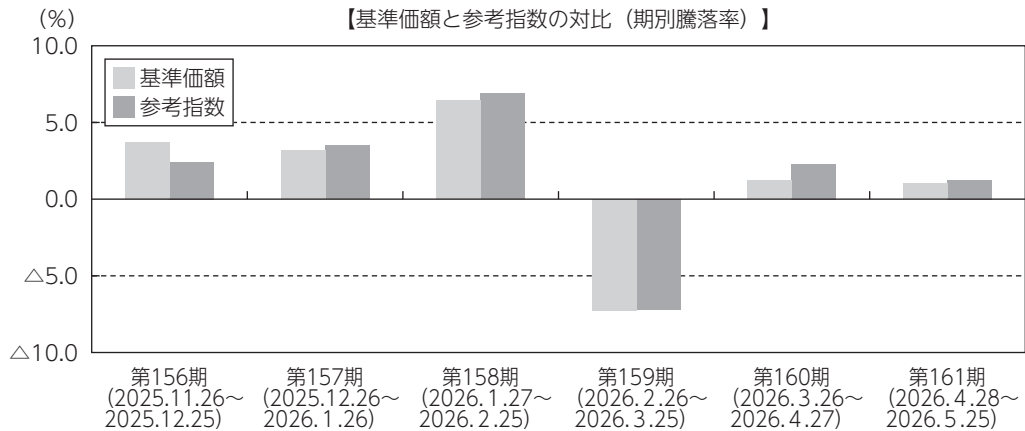
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド
(JPYヘッジド) - Aクラスの基準価額の推移



(注) 基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金は、年 1 回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第156期は 1 万口当たり42円、第157期から第161期はそれぞれ 1 万口当たり37円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1 万口当たり）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2025年11月26日 ～2025年12月25日	2025年12月26日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月25日	2026年2月26日 ～2026年3月25日	2026年3月26日 ～2026年4月27日	2026年4月28日 ～2026年5月25日
当期分配金（税引前）	42円	37円	37円	37円	37円	37円
対基準価額比率	1.33%	1.15%	1.09%	1.19%	1.19%	1.19%
当期の収益	42円	37円	37円	37円	37円	37円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	2,896円	2,902円	2,908円	2,913円	2,917円	2,921円

- (注 1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注 2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第 3 位を四捨五入しています。
- (注 3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続きエクイティファンド（ヘッジあり）Aを高位に維持し、収益の獲得を目指します。

●エクイティファンド（ヘッジあり）A

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジあり）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

●国内マネー・マザーファンド

日銀は2026年4月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第156期～第161期 (2025年11月26日 ～2026年 5月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	20円	0.641%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は3,174円です。
(投信会社)	(6)	(0.190)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(14)	(0.436)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	20	0.642	

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

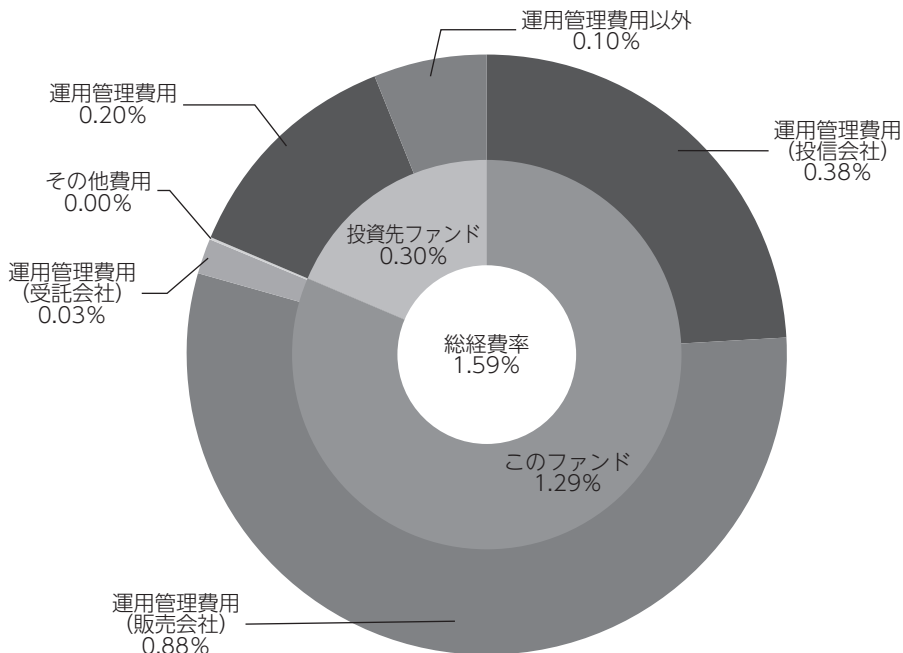
(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



総経費率 (①+②+③)	1.59%
①このファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。なお、投資先ファンドで行われるスワップ取引における指数手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。当該指数手数料は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されています。上記の総経費率に関しては、投資先ファンドも含め入手し得る情報において作成、計算されたものです。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2025年11月26日から2026年5月25日まで）
投資信託受益証券

		第 156 期 ～ 第 161 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（JPYヘッジド）－Aクラス	千□ －	千円 －	千□ 3,546,719.282	千円 847,000

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年11月26日から2026年5月25日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2025年11月26日から2026年5月25日まで）
【世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジありコースにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引等はありません。

【国内マネー・マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 156 期 ～ 第 161 期			第 161 期		
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D／C
公 社 債	百万円 724	百万円 209	% 28.9	百万円 －	百万円 －	% －

平均保有割合 4.1%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 26 作 成 期 末	第 27 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
シンコウ・グローバル・エクイティ・ ファンド（ＪＰＹヘッジド）－Ａクラス	23,269,844.181	19,723,124.899	4,528,429	98.3
合 計	23,269,844.181	19,723,124.899	4,528,429	98.3

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 26 作 成 期 末	第 27 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	
	千□	千□	千円	
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	21,814	21,814	22,137	

■投資信託財産の構成

2026年5月25日現在

項 目	第 27 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 4,528,429	% 96.9
国 内 マ ネ ー ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	22,137	0.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	121,941	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	4,672,508	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年12月25日)、(2026年1月26日)、(2026年2月25日)、(2026年3月25日)、(2026年4月27日)、(2026年5月25日)現在

項 目	第 156 期 末	第 157 期 末	第 158 期 末	第 159 期 末	第 160 期 末	第 161 期 末
(A) 資 産	5,645,257,713円	5,698,872,994円	5,783,568,380円	5,101,623,841円	4,879,144,646円	4,672,508,372円
コール・ローン等	177,745,731	154,507,633	180,216,757	144,800,176	124,937,022	121,941,653
投資信託受益証券(評価額)	5,445,438,000	5,485,280,472	5,553,253,645	4,934,714,780	4,732,083,469	4,528,429,476
国内マネー・マザーファンド(評価額)	22,073,982	22,084,889	22,097,978	22,108,885	22,124,155	22,137,243
未 収 入 金	－	37,000,000	28,000,000	－	－	－
(B) 負 債	80,956,830	95,120,246	106,957,963	86,555,936	76,991,204	64,947,096
未 払 収 益 分 配 金	74,919,389	65,186,291	62,713,635	60,489,705	57,917,554	55,671,118
未 払 解 約 金	－	23,533,541	38,147,887	20,667,158	13,236,992	4,541,607
未 払 信 託 報 酬	6,019,295	6,381,181	6,078,119	5,382,849	5,819,119	4,720,146
その他未払費用	18,146	19,233	18,322	16,224	17,539	14,225
(C) 純資産総額(A－B)	5,564,300,883	5,603,752,748	5,676,610,417	5,015,067,905	4,802,153,442	4,607,561,276
元 本	17,837,949,986	17,617,916,711	16,949,631,204	16,348,569,018	15,653,393,049	15,046,248,283
次期繰越損益金	△12,273,649,103	△12,014,163,963	△11,273,020,787	△11,333,501,113	△10,851,239,607	△10,438,687,007
(D) 受 益 権 総 口 数	17,837,949,986□	17,617,916,711□	16,949,631,204□	16,348,569,018□	15,653,393,049□	15,046,248,283□
1万口当たり基準価額(C/D)	3,119円	3,181円	3,349円	3,068円	3,068円	3,062円

(注) 第155期末における元本額は18,007,956,791円、当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は345,512,560円、同解約元本額は3,307,221,068円です。

■損益の状況

〔自 2025年11月26日
至 2025年12月25日〕〔自 2025年12月26日
至 2026年 1 月26日〕〔自 2026年1月27日
至 2026年 2 月25日〕〔自 2026年2月26日
至 2026年 3 月25日〕〔自 2026年3月26日
至 2026年 4 月27日〕〔自 2026年4月28日
至 2026年 5 月25日〕

項 目	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
(A) 配 当 等 収 益	90,533,706円	78,269,702円	75,251,875円	72,940,906円	69,660,333円	67,048,679円
受 取 配 当 金	90,487,830	78,207,234	75,193,638	72,884,476	69,606,776	66,996,241
受 取 利 息	45,876	62,468	58,237	56,430	53,557	52,438
(B) 有価証券売買損益	114,428,425	101,289,283	277,519,381	△467,143,982	△5,833,536	△14,923,398
売 買 益	116,420,658	101,853,379	285,105,431	6,245,432	4,141,665	1,917,316
売 買 損	△1,992,233	△564,096	△7,586,050	△473,389,414	△9,975,201	△16,840,714
(C) 信 託 報 酬 等	△6,037,441	△6,400,414	△6,096,441	△5,399,073	△5,836,658	△4,734,371
(D) 当期損益金(A+B+C)	198,924,690	173,158,571	346,674,815	△399,602,149	57,990,139	47,390,910
(E) 前期繰越損益金	△3,202,639,204	△3,035,915,369	△2,798,384,327	△2,420,482,780	△2,750,474,190	△2,635,556,923
(F) 追加信託差損益金	△9,195,015,200	△9,086,220,874	△8,758,597,640	△8,452,926,479	△8,100,838,002	△7,794,849,876
(配当等相当額)	(4,585,028,578)	(4,529,389,323)	(4,361,515,851)	(4,207,924,994)	(4,030,574,938)	(3,875,908,858)
(売買損益相当額)	(△13,780,043,778)	(△13,615,610,197)	(△13,120,113,491)	(△12,660,851,473)	(△12,131,412,940)	(△11,670,758,734)
(G) 合 計(D+E+F)	△12,198,729,714	△11,948,977,672	△11,210,307,152	△11,273,011,408	△10,793,322,053	△10,383,015,889
(H) 収 益 分 配 金	△74,919,389	△65,186,291	△62,713,635	△60,489,705	△57,917,554	△55,671,118
次期繰越損益金(G+H)	△12,273,649,103	△12,014,163,963	△11,273,020,787	△11,333,501,113	△10,851,239,607	△10,438,687,007
追加信託差損益金	△9,195,015,200	△9,086,220,874	△8,758,597,640	△8,452,926,479	△8,100,838,002	△7,794,849,876
(配当等相当額)	(4,585,028,593)	(4,529,389,337)	(4,361,515,900)	(4,207,925,005)	(4,030,574,970)	(3,875,908,883)
(売買損益相当額)	(△13,780,043,793)	(△13,615,610,211)	(△13,120,113,540)	(△12,660,851,484)	(△12,131,412,972)	(△11,670,758,759)
分配準備積立金	581,320,629	583,558,059	568,984,995	554,790,834	535,654,090	519,943,117
繰越損益金	△3,659,954,532	△3,511,501,148	△3,083,408,142	△3,435,365,468	△3,286,055,695	△3,163,780,248

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
(a) 経費控除後の配当等収益	87,875,097円	75,490,012円	73,962,471円	67,553,165円	63,837,800円	62,326,705円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	4,585,028,593	4,529,389,337	4,361,515,900	4,207,925,005	4,030,574,970	3,875,908,883
(d) 分 配 準 備 積 立 金	568,364,921	573,254,338	557,736,159	547,727,374	529,733,844	513,287,530
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,241,268,611	5,178,133,687	4,993,214,530	4,823,205,544	4,624,146,614	4,451,523,118
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,938.27	2,939.13	2,945.91	2,950.23	2,954.09	2,958.56
(g) 分 配 金	74,919,389	65,186,291	62,713,635	60,489,705	57,917,554	55,671,118
(h) 1万口当たり分配金	42	37	37	37	37	37

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
1 万口当たり分配金	42円	37円	37円	37円	37円	37円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「国内マネー・マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。
(2026年4月1日)

シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (JPYヘッジド) – Aクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運 用 方 針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（配当込み、円建て、円ヘッジあり）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主 な 投 資 制 限	・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。
決 算 日	12月末
関 係 法 人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：CIBC カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行会社：ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルク支店 保管受託銀行：ミズホ・バンク（USA）
信 託 報 酬 等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行会社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）－Ａクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）」を構成する個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（ＪＰＹヘッジド）」の状況

(1) 財政状態計算書

2023年12月31日現在

(日本円表示)

資産	
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (取得原価：7,360,118,860円)	7,932,884,595
現金	8,090,780,320
未収申込金	44,000,000
資産合計	16,067,664,915
負債	
スワップ契約先への預り金	7,944,200,000
未払管理事務代行報酬	1,586,025
未払保管受託報酬	302,423
未払専門家報酬	3,806,460
未払管理報酬	1,008,064
未払受託者報酬	805,586
その他の負債	1,097,644
負債合計（受益者に帰属する純資産を除く）	7,952,806,202
受益者に帰属する純資産	8,114,858,713
1口当たりの純資産価額	
Aクラス 投資信託受益証券 (発行済投資信託受益証券口数 26,346,702,989口)	0.3080

(2) 包括利益計算書

2023年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益	
実効金利法を用いて算出された受取利息	2,325,787
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益	24,001,200
外貨取引にかかる実現純（損失）／利益	(1,779)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現利益／（損失）の変動純額	493,008,411
外貨取引にかかる未実現（損失）／利益の変動純額	(134,576)
投資収益合計	519,199,043
費用	
管理事務代行報酬	6,638,635
保管受託報酬	968,109
管理報酬	3,271,716
受託者報酬	2,472,751
専門家報酬	3,952,518
その他報酬	2,543,916
費用合計	19,847,645
純投資利益	499,351,398
財務費用	
受益者への分配金	(1,244,929,619)
運用より生じた受益者に帰属する純資産の減少額	(745,578,221)

(3) 次の表は、金融資産の集中を表示しており、2023年12月31日現在で当ファンドが保有する金融資産の公正価値および想定元本を示している。

	(単位：日本円)	
	公正価値	想定元本
金融資産：		
金融商品（スワップ取引）への投資	7,932,884,595	3,095,000,000
会計年度末	7,932,884,595	3,095,000,000

国内マネー・マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日 2026年1月15日）

（計算期間 2025年1月16日～2026年1月15日）

国内マネー・マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰	中 落 率			
16期(2024年1月15日)	円		%	%	%	百万円
	10,076		△0.1	61.4	—	602
17期(2025年1月15日)	10,083		0.1	80.7	—	597
18期(2026年1月15日)	10,122		0.4	77.1	—	535

（注1）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注2）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

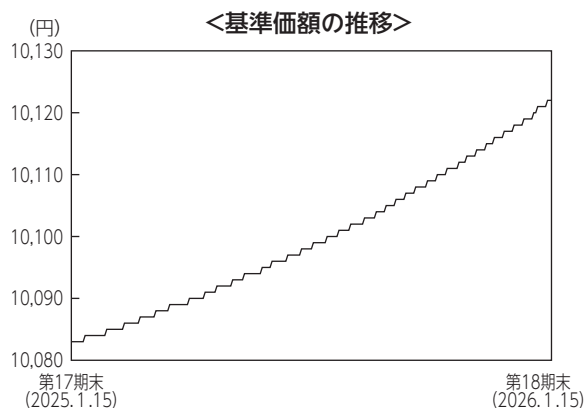
（注3）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 券 率	債 先 物 比 券 率
(期 首) 2025年 1 月15日	円 10,083	% －	% 80.7	% －
1 月 末	10,084	0.0	80.7	－
2 月 末	10,086	0.0	80.7	－
3 月 末	10,089	0.1	72.3	－
4 月 末	10,091	0.1	84.0	－
5 月 末	10,094	0.1	82.3	－
6 月 末	10,097	0.1	82.3	－
7 月 末	10,100	0.2	82.2	－
8 月 末	10,103	0.2	82.2	－
9 月 末	10,107	0.2	77.2	－
10 月 末	10,111	0.3	77.2	－
11 月 末	10,115	0.3	77.2	－
12 月 末	10,120	0.4	77.1	－
(期 末) 2026年 1 月15日	10,122	0.4	77.1	－

(注 1) 騰落率は期首比です。
(注 2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2025年1月16日から2026年1月15日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,122円となり、前期末の同10,083円から0.39%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

残存期間が1年程度までの公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行った結果、基準価額は上昇しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.25%近辺の水準で始まりましたが、日銀が2025年1月と12月に政策金利を引き上げたことから、当期末にかけて同利回りは上昇しました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は2025年12月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75%に引き上げました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行う姿勢を示していますが、現状では利上げの幅やペースの加速は見込まれていません。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1 万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況（2025年 1 月16日から2026年 1 月15日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内国債証券		951,709	— (1,023,000)

（注 1）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

（注 2）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等（2025年 1 月16日から2026年 1 月15日まで）

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D / C
公社債	百万円 951	百万円 149	% 15.7	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	千円	千円	%	%	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	413,000	412,686	77.1	—	—	—	77.1
合 計	413,000	412,686	77.1	—	—	—	77.1

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第 2 位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄		当 期		期 末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)		%	千円	千円	
1 2 8 1 回	国庫短期証券	—	100,000	99,993	2026/01/20
1 3 4 4 回	国庫短期証券	—	53,000	52,974	2026/02/24
1 3 4 7 回	国庫短期証券	—	150,000	149,873	2026/03/09
1 3 5 3 回	国庫短期証券	—	60,000	59,910	2026/04/06
4 6 3 回	利付国庫債券（2 年）	0.4000	50,000	49,933	2026/08/01
合 計		—	413,000	412,686	—

■投資信託財産の構成

2026年 1月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 412,686	% 77.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	122,380	22.9
投 資 信 託 財 産 総 額	535,066	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年 1月15日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	535,066,885円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	122,289,177
国 債 証 券(評価額)	412,686,342
未 収 利 息	81,503
前 払 費 用	9,863
(B) 負 債	－
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	535,066,885
元 本	528,599,774
次 期 繰 越 損 益 金	6,467,111
(D) 受 益 権 総 口 数	528,599,774口
1 万口当たり基準価額(C／D)	10,122円

(注1) 期首元本額 592,995,208円
追加設定元本額 0円
一部解約元本額 64,395,434円

(注2) 期末における元本の内訳
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース 272,756,011円
世界高配当株セレクト (目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース 21,814,391円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース (年1回決算・為替ヘッジなし) 39,526,080円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース (年4回決算・為替ヘッジなし) 188,580,850円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース (年1回決算・限定為替ヘッジ) 2,962,052円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース (年4回決算・限定為替ヘッジ) 2,960,390円
期末元本合計 528,599,774円

■損益の状況

当期 自2025年 1月16日 至2026年 1月15日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	1,907,575円
受 取 利 息	1,907,575
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	353,672
売 買 益	353,672
(C) 当 期 損 益 金(A＋B)	2,261,247
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	4,920,651
(E) 解 約 差 損 益 金	△714,787
(F) 合 計(C＋D＋E)	6,467,111
次 期 繰 越 損 益 金(F)	6,467,111

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》
約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年 4月 1 日)